

令和8年度
小矢部市防災士連絡協議会

総会資料

日時 令和8年5月18日（月）午後7時

場所 小矢部市役所 講堂（4階）

| 名 称 | 年月日 | 場 所 | 参加者等 | 内 容 |
|--|-------------------------|--------------------------|-----------------------------|---|
| 第1回 理事会 | R7.5.7(水) | 小矢部市役所 5階502会議室 | 役員 10名 市職員 2名 | 総会資料の確認 規約の改正(理事18名)について 各種研修及び訓練について |
| 総会 | R7.5.19(月) | 小矢部市役所 4階講堂 | 役員、会員 47名 市職員 6名 | R7年度事業報告・収支決算報告 R8年度事業計画(案)・収支予算(案) 95名(委任48名)/会員130名 |
| とやま呉西圏域連携事業 (防災士育成事業) 防災講習会 | R7.6.15(日) | 高岡市役所 8階802会議室 | 会員 5名 市職員 1名 | 講演:「防災士としての活動と心構え」 避難所運営ゲームHUG(地震編) 講師:富山県防災士会 江尻 氏 |
| 出前講座① 松沢地区防災会 | R7.7.27(日) | 松沢公民館 | 参加者 19名 役員 2名 | 講習:「マイ・タイムライン」 講師:堀内会長、野手理事 |
| 第2回 理事会 | R7.8.7(木) | 小矢部市役所 5階502会議室 | 役員 13名 市職員 1名 | 「合同防災フェア」(道の駅メルヘンおやべ、三井 アウトレットパーク北陸小矢部)について 講習:「防災ライジング」(防災カードゲーム) 講師:黒越友輔 |
| 「合同防災フェア」 | R7.8.23(土) | 道の駅メルヘン おやべ | 参加者約100名 役員 3名 市職員 1名 | 講習:「水防講習(豪雨対策)」 講師:堀内会長、立崎副会長、道会計 |
| 「合同防災フェア」 | R7.8.23(土) | 三井アウトレ ットパーク北陸小 矢部 | 参加者約200名 役員 3名 市職員 2名 | 講習:「水防講習(豪雨対策)」 講師:堀内会長、立崎副会長、道会計 |
| 「合同防災フェア」 | R7.8.24(日) | 三井アウトレ ットパーク北陸小 矢部 | 参加者約200名 役員 6名 市職員 2名 | 講習:「水防講習(豪雨対策)」 防災工作(新紙スリッパ等) 講師:堀内会長他5名 |
| 孤立集落状況把握・支援訓 練 座談会(内閣府 ①) | R7.9.20(土) | 南谷公民館 | 役員 1名 | 道会計 参加 |
| 市総合防災訓練 | R7.9.23(祝) | 正得運動広場 | 参加者約300名 役員 2名 | 講習:「防災展示コーナー」、 「家具の転倒防止他」 講師:堀内会長、立崎副会長 |
| 富山県総合防災訓練 | R7.9.28(日) | 南砺市 城南屋内グラウ ンド | 参加者 約2200名 役員 4名 | 講習:断層、感震ブレイカー、転倒防止用品、 住宅耐震構造、防災バック等の説明、新聞紙の スリッパ作り等 講師:堀内会長他3名 |
| 孤立集落状況把握・支援訓 練 座談会(内閣府 ①) | R7.10.12(日) | 谷坪野構造改善 センター 南谷公民館 | 参加者約100名 役員 2名 | スターリンクによる情報伝達訓練 ドローンによる物資搬送、避難訓練 道会計、野手理事 参加 |
| 出前講座② 石動南部・中部・北部地区 防災会 | R7.10.12(日) | 小矢部市民交流 プラザ 多目的ホール | 参加者 22名 役員 4名 | 講習:「災害への備え避難行動と避難所」 講師:堀内会長他3名 |
| 令和7年度避難生活支援 リーダー/サポーター研修 (内閣府 ②) | R7.10.25(土) 10.26(日) | 小矢部市民体育 館 | 参加者 53名 役員 5名 | 「多様な被災者の理解とその配慮」 「避難所の課題と生活環境の整備」 「対人コミュニケーション等」 |
| 第3回 理事会 | R7.11.6(木) | 小矢部市役所 5階502会議室 | 役員 15名 市職員 3名 | 「小矢部市地域防災計画の改正」について 出前講座・視察研修会参加者等確認 |
| 出前講座③ 子撫地区防災会 | R7.11.8(土) | 東部公民館 | 参加者 27名 役員 4名 | 講習:「防災や身近で役立つロブワーク」 講師:堀内会長他3名 |

| 名 称 | 年月日 | 場 所 | 参加者等 | 内 容 |
|---------------------------------------|---------------|-------------------------------|-------------------------------|---|
| 『だれでも参加 自ら体験 防災訓練』 市障害者団体連絡協議会 | R7. 11. 30(日) | 津沢中学校 体育館 | 参加者約170名 役 員 9名 | 「視覚・聴覚・知的障害救助誘導訓練等」 仮設テント、ダンボールベッド組み立て、 防災食試食体験 講師：堀内会長他 8名 |
| 出前講座④ 東蟹谷社会福祉協議会 「三世代ふれあい交流会」 | R7. 12. 7(日) | 東蟹谷公民館 | 参加者 50名 役・会員 5名 市職員 1名 | 講演：「小矢部の自然災害被害状況と対策」 講師：松防災専門官 講習：「紙バック箱、スリッパ作り等」 講師：堀内会長、道会計他 3名 |
| 視察研修会（福井県） | R7. 12. 13(土) | 福井市防災セン ター、一乗谷朝 倉氏遺跡博物館 | 役・会員12名 市職員 2名 | 地震揺れ、消火・流水・暴風雨・災害映像体験 等 |
| 第 4 回 理事会 | R8. 2. 3(火) | 小矢部市役所 5階502会議室 | 役 員 11名 市職員 1名 | 研修会(県、呉西地区、小矢部市) 内容 説明等 |
| とやま呉西圏域連携事業 防災講演会（兼市防災リー ダー研修会） | R8. 2. 8（日） | 福岡総合文化セ ンター (Uホール) | 参加者 115名 役・会員14名 市職員 1名 | 講演：「地域の防災力を高めるヒント」 講師：防災意識向上語り部 京氏 講演：「仏生寺地区の防災の取り組み」 講師：仏生寺地域づくり協議会 屋敷氏 |
| 小矢部市自主防災組織 連絡協議会との 「意見交換会」 | R8. 2. 25(水) | 小矢部市役所 特別会議室 | 自主防 3名 役 員 3名 市職員 5名 | 両協議会の連携体制強化について 堀内会長、立崎副会長、道会計 参加 |
| 出前講座⑤ 正得地区防災会 | R8. 2. 28(土) | 正得公民館 | 参加者 23名 役 員 4名 市職員 1名 | 講習：「災害への備え避難行動と避難所」 講師：堀内会長他 3名 |
| 防災士スキルアップ研修 | R8. 3. 1(日) | 小矢部市役所 4階講堂 | 役・会員20名 市職員 1名 | 講習：「防災工作」（防災ポンチョ、 防災スリッパ、防災笛作り） 講師：堀内会長 |
| 出前講座⑥ 手をつなぐ育成会 | R8. 3. 8(日) | 砺波青少年自然 の家 1階 大研修室 | 参加者 16名 役 員 2名 | 講習：「防災ライジング」（防災カードゲーム） 講師：堀内会長、道会計 |
| 「個別避難計画の作成を通 して」研修会(内閣府 ③) | R8. 3. 8(日) | 小矢部市民交流 プラザ 多目的ホール | 参加者 52名 役・会員20名 市職員 6名 | 講演：「地域ぐるみで実施する避難行動要支援 者対策」 講師：福井大学 酒井名誉教授 |

令和7年度 収支決算報告

期間:令和7年4月1日～令和8年3月31日

◎収入

(単位:円)

| 項目 | 予算額 A | 決算額 B | 増減 (B-A) | 内 訳 |
|------|----------|----------|----------|-----------|
| 市補助金 | 90,000 | 90,000 | 0 | 市防災士活動補助金 |
| 繰越金 | 10,457 | 10,457 | 0 | 前年度繰越金 |
| 研修会費 | 30,000 | 28,000 | △ 2,000 | 2,000×14名 |
| 雑収入 | 543 | 70 | △ 473 | 預金利子 |
| 合 計 | 131,000 | 128,527 | △ 2,473 | |

◎支出

(単位:円)

| 項目 | 予算額 A | 決算額 B | 増減 (B-A) | 内 訳 |
|-------|----------|----------|----------|--|
| 会議費 | 1,000 | 0 | △ 1,000 | |
| 事務費 | 60,000 | 36,625 | △ 23,375 | 郵便代 3,850円 HPサーバー維持管理費等 32,775円 |
| 活動研修費 | 64,000 | 72,952 | 8,952 | 視察研修費 40,484円 出前講座等防災訓練用品 6,068円 「防災ライジング～地震編」2セット 26,400円 |
| 予備費 | 6,000 | 0 | △ 6,000 | |
| 合 計 | 131,000 | 109,577 | △ 21,423 | |

収入額 支出額
128,527円 - 109,577円 = 18,950円 を次年度に繰り越します。

会計監査報告書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

令和7年度小矢部市防災士連絡協議会の収支決算の監査を令和8年5月7日に実施し、関係書類を慎重に審査したところ、適正かつ正確に執行されていたことを報告します。

令和8年5月7日

小矢部市防災士連絡協議会

監事 山口 誠一 

監事 福塚 俊之 

議案第3号

令和8年度小矢部市防災士連絡協議会役員名簿(案)

◇役員

| 役員名 | 人数 | 氏名 | 備考 |
|-----|-----|--------|-----------|
| 会長 | 1名 | 堀内 昌樹 | 水島(胡麻島) |
| 副会長 | 2名 | 立崎 進 | 子撫(田川) |
| | | 丸山 由樹 | 宮島(岩崎) |
| 会計 | 1名 | 道 伸一 | 津沢(新西) |
| 理事 | 14名 | 高内 広 | 石動東部(西福町) |
| | | 宮口 はるみ | 石動西部(石動町) |
| | | 松 保子 | 北蟹谷(末友) |
| | | 加藤 幸雄 | 東蟹谷(杉谷内) |
| | | 野手 壽久 | 松沢(野寺) |
| | | 上田 勝義 | 正得(道明) |
| | | 出合 和仁 | 若林(下中) |
| | | 藤村 利彦 | 荒川(石王丸) |
| | | 坂井 忠宏 | 藪波(安養寺) |
| | | 山田 稔 | 埴生(道林寺) |
| | | 柴田 英明 | 石動北部(八和町) |
| | | 武部 吉昭 | 石動中部(新富町) |
| | | 田屋 靖弘 | 石動南部(綾子) |
| | | 岡田 直也 | 南谷(道坪野) |
| 監事 | 2名 | 長谷川 義晴 | 水島(水島) |
| | | 加藤 淳 | 藪波(安養寺) |
| 合計 | 20名 | | |

議案第4号

令和8年度 事業計画 (案)

| 名 称 | 年月日 | 場 所 | 出席者等 | 内 容 |
|---------------------------------------|---------------|--------------------------------|----------------------|---|
| 理事会(第1回) | R8. 4. 14 (火) | 小矢部市役所 5階502会議室 | 役 員 | R 8年度役員改選(案)について 「防災ライジング」研修 |
| 理事会(第2回) | R8. 5. 7 (木) | 小矢部市役所 5階502会議室 | 役 員 | 総会等の打合せ 「各種ホームページ」研修 |
| 総 会 | R8. 5. 18 (月) | 小矢部市役所 4階講堂 | 会 員 | R 7年度事業・収支決算報告 R 8年度役員改選(案) R 8年度事業計画・収支予算(案) |
| とやま呉西圏域連携事業(防災士育成事業)防災講習会 | R8. 6. 14 (日) | 高岡市役所 8階802会議室 | 新規資格 取得者 | 新人防災士研修(HUG) |
| 「市町村防災力強化出前研修」 災害図上訓練DIG (風水害版) | R8. 8. 23 (日) | 市民交流プラザ | 役 員 自主防会員 消防団員 | 一般社団法人 消防防災科学センター |
| 理事会 | 随 時 | 小矢部市役所 | 役 員 | 各種研修会、出前講座等の打合せ |
| 市総合防災訓練への参加 | R8. 12月頃 | 市民交流プラザ 市民体育館 石動中学校グラウンド | 会 員 | |
| 防災関係講演への参加 (出前講座等) | 随 時 | 開催地区 | 会 員 | 防災講座等(公民館等) |
| 地区防災訓練への参加 | 随 時 | 開催地区 | 会 員 | |
| 視察研修会 | R8. 10月～12月 | 未 定 | 会 員 | |
| 令和8年度小矢部市自主防災リーダー研修会 | R9. 2月頃 | 高岡市 (Uホール) | 会 員 | (呉西圏域連携事業防災講演会) |
| 防災士スキルアップ研修 | R9. 2月～3月 | 小矢部市役所 | 会 員 | |

各地区自主防災組織連絡協議会と防災士の連携等について

令和8年度実施予定

① 各小学校単位において、防災講座開催(各地区防災士対象)

(防災ライジング、DIG、HUG、マイタイムライン、避難所開設・運営等)

- ・ 各地区防災士の顔合わせ兼連絡体制確認
- ・ 防災講座受講後、各地区自主防災会の防災講座等講師役予定

② 各地区自主防災会単位において、防災講座開催(各地区自主防災関係者対象)

- ・ 各地区防災士と各地区自主防災会員等との顔合わせ兼連絡体制確認
- ・ 防災講座受講後、地区防災力の向上につなげる
- ・ 地区防災計画策定及び改定の参考にする

※ 令和8年度は、市内全域において「防災ライジング」実施予定

令和8年度 収支予算 (案)

期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日

◎収 入

(単位：円)

| 項 目 | 前年度予算額 A | 本年度予算額 B | 増減 (B-A) | 内 訳 |
|------|-------------|-------------|----------|-----------|
| 市補助金 | 90,000 | 90,000 | 0 | 市防災士活動補助金 |
| 繰越金 | 10,457 | 18,950 | 8,493 | 前年度繰越金 |
| 研修会費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 2,000×15名 |
| 雑収入 | 543 | 50 | △ 493 | 預金利子等 |
| 合 計 | 131,000 | 139,000 | 8,000 | |

◎支 出

(単位：円)

| 項 目 | 前年度予算額 A | 本年度予算額 B | 増減 (B-A) | 内 訳 |
|-------|-------------|-------------|----------|-----------------------------|
| 会議費 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 事務費 | 60,000 | 50,000 | △ 10,000 | 郵便代 ホームページサーバー維持管理費等 |
| 活動研修費 | 64,000 | 82,000 | 18,000 | 防災講座用品及び消耗品 研修会、研修会講師謝礼等 |
| 予備費 | 6,000 | 6,000 | 0 | |
| 合 計 | 131,000 | 139,000 | 8,000 | |

地区別防災士配置状況(小矢部市防災士連絡協議会員)

R8. 4. 1 (現在)

| 地区名 | 会員数 | 男性 | 女性 |
|------|-----|-----|----|
| 石動西部 | 13 | 10 | 3 |
| 石動中部 | 2 | 2 | 0 |
| 石動東部 | 11 | 9 | 2 |
| 石動北部 | 5 | 5 | 0 |
| 石動南部 | 11 | 9 | 2 |
| 南谷 | 8 | 8 | 0 |
| 埴生 | 16 | 15 | 1 |
| 松沢 | 8 | 7 | 1 |
| 正得 | 5 | 5 | 0 |
| 荒川 | 6 | 5 | 1 |
| 子撫 | 10 | 8 | 2 |
| 宮島 | 5 | 4 | 1 |
| 北蟹谷 | 6 | 5 | 1 |
| 若林 | 6 | 5 | 1 |
| 津沢 | 12 | 9 | 3 |
| 水島 | 9 | 9 | 0 |
| 藪波 | 10 | 8 | 2 |
| 東蟹谷 | 8 | 7 | 1 |
| 計 | 151 | 130 | 21 |

小矢部市防災士連絡協議会規約

(目的)

第1条 本会は、「自助」「共助」「協働」という防災士の原則のもと、市民に対し、防災意識の啓発、防災活動の支援等を行うことで、小矢部市全体の防災力向上及び自主防災活動の促進に寄与することを目的とする。また、本会の活動を通じて、防災リーダーの育成に努めるものとする。

(名称)

第2条 この会は、小矢部市防災士連絡協議会（以下「本会」という。）とする。

(組織)

第3条 小矢部市に在住する「日本防災士機構」により認証された防災士（以下「会員」という。）によって組織する。

(事業)

第4条 本会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 市民への防災思想の普及活動及び自主防災組織等が行う防災訓練への支援活動事業
- (2) 防災士としてのスキルアップに資する事業
- (3) 会員相互の交流及び情報の提供に資する事業
- (4) 他団体との連携を図り、幅広い防災啓発活動を行うための事業
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 14名
- (4) 会計 1名
- (5) 監事 2名

(役員を選出)

第6条 本会の役員は、各地区から選出された者のうちから、理事会において推薦し、総会において承認を得るものとする。

(役員任期)

第7条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

2 補欠により就任した役員は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期終了後も後任者が就任するまでは、その職務を行うものとする。

(役員任務)

第8条 役員任務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、本会を代表し会務を総理する。

(2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は、会長が予め指定した順位によりその職務を代行する。

(3) 理事は、理事会に出席し、本会の運営について審議を行う。

(4) 会計は、本会の経理を担当する。

(5) 監事は、会務の運営及び経理を監査する。

(会議)

第9条 会議は、総会及び理事会とする。

2 総会は、年1回開催する。

3 理事会は、必要の都度会長が招集する。

(総会)

第10条 総会は、会長が招集しその議長になる。

2 会長が必要と認めた場合又は会員の3分の1以上の要望があった場合は臨時総会を開催することができる。

(総会成立)

第11条 総会は、会員の2分の1以上(委任状を含む)の出席をもって成立し、出席者の過半数により決する。可否同数のときは議長がこれを決する。

(総会議事)

第12条 総会は、次の事項を付議する。

(1) 事業計画及び事業報告

(2) 事業実施に係る予算及び決算

- (3) 規約の変更
- (4) 役員の承認
- (5) その他必要な事項

(理事会)

第13条 理事会は、会長、副会長、理事及び会計をもって構成し、本会の運営上必要な事項を審議するものとする。

- (1) 事業計画及び予算案等の企画立案に関する事項
- (2) 事業報告及び決算等の作成に関する事項
- (3) 規約及び諸規定等の制定又は改廃に関する事項
- (4) 役員の選出に関する事項
- (5) その他必要な事項

(会計)

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第15条 事務局は、本会の議事を記録し、その他会務運営及び執行にあたるものとし、小矢部市役所総務課内に置く。

(補則)

第16条 この規約に定めのない事項については、理事会でこれを定める。

附則

- 1 この規約は、平成28年5月18日から施行する。
- 2 本会の設立初年度の役員の任期については、第7条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。
- 3 本会の設立初年度の会計年度については、第14条の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。
- 4 この規約は、令和7年5月19日から施行する。

令和8年度の主な市の取組み

<避難所>

- ・16の地域拠点避難所、10の基幹避難所、その他に整理（別紙）
- ・地域拠点避難所と基幹避難所には分散備蓄を行う（令和8年度完了）
- ・地域拠点避難所の開設は、担当職員3名+地区防災会の方で行う。開設後は市職員は連絡員として1名残り、運営は地区防災会が主体となる。

<防災モデル事業>

- ・石動中部地区、子撫地区を防災モデル地区として指定し、各種研修会等を実施する
- ・石動中部地区（石動北部地区・石動南部地区）で市総合防災訓練を実施

<市総合防災訓練>

- ・今年度から開催時期、開催時間を柔軟に設定。今年度は12月頃に開催予定
- ・協定締結先の参加を促し、各種関係機関の連携を確認
- ・受付のDX化を実証実験予定

<備蓄>

- ・トイレトラック導入（12月納入予定）
- ・簡易ベッド、パーテーションテント、ベビーベッド等を購入（分散備蓄）
- ・上記を収める備蓄倉庫を整備
- ・移動式空調を整備（5台：市民体育館）
- ・簡易トイレの拡充、備蓄食のバリエーション拡充を図る

<個別避難計画>

- ・モデル地区を指定し、計画策定の推進を図る
- ・モデル地区の実施状況を踏まえ、横展開を図る予定

<ハザードマップ>

- ・洪水ハザードマップを作成中
- ・9月完成、11月市報にて配布予定

<防災井戸>

- ・市民交流プラザ付近に防災井戸を整備予定
- ・防災井戸の水は生活用水として活用

拠点避難所と指定避難所の整理

※黄色網掛けは現在の拠点避難所

| 校区名 | 地区名 | 指定避難所 | | |
|-----|------|--------------------------|------------------------|---|
| | | 地域拠点避難所 | 基幹避難所 | 避難所 |
| 石動小 | 西部 | 石動小学校 | 石動小学校 石動中学校 石動高校 | 武道館 教育センター 岩尾滝くつろぎ交流館 大和トランスポート(株)研修センターあすなろ 宗教法人聖泉寺 埴生保育所 文化スポーツセンター |
| | 南谷 | 南谷公民館 | | |
| | 北部 | 市民交流プラザ | | |
| | 中部 | | | |
| | 南部 | | | |
| | 埴生 | 埴生公民館 | | |
| 東部小 | 石動東部 | 東部公民館 | 東部小学校 | 石動きらりこども園 道の駅メルヘンおやべ 桜町JOMONパーク 田川集会場 |
| | 子撫 | | | |
| | 宮島 | 宮島公民館 | | |
| 大谷小 | 松沢 | 松沢公民館 | 大谷小学校 大谷中学校 | 大谷こども園 農村環境改善センター ST物流(株)小矢部物流センター 若林運動広場体育館 |
| | 正得 | 正得公民館 | | |
| | 荒川 | 荒川公民館 | | |
| | 若林 | 若林公民館 | | |
| 津沢小 | 津沢 | 津沢コミュニティプラザ (津沢公民館含む) | 津沢小学校 津沢中学校 | となみ野高等学校 (株)ゴールドウイン富山本店多目的ホール |
| | | 南部公民館 | | |
| | 水島 | 水島公民館・水島SC | | |
| 蟹谷小 | 藪波 | 藪波公民館・藪波SC | 蟹谷小学校 蟹谷中学校 | サイクリングターミナル (株)北陸LIXIL製作所 小矢部工場 蟹谷こども園 |
| | 北蟹谷 | 北蟹谷公民館・北蟹谷SC | | |
| | 東蟹谷 | 東蟹谷公民館 | | |

※拠点避難所は、地域拠点避難所として16拠点に再編成(原則各地区1か所)

防災コーナー

令和8年5月から防災気象情報が新しくなります

令和8年5月下旬(予定)から、新たな防災気象情報の運用を開始します。この取り組みは、これまで防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいとの意見などを受け、防災気象情報に関する検討会にて2年半かけて検討した結果、防災気象情報を改善し新たに運用することとなったものです。

この新たな防災気象情報では、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の警報などを、避難行動に対応した5段階(レベル1~5)の警戒レベルと整合させ、災害発生の危険度に応じたレベルの数字を名称に含めて発表します。(下表)

警戒レベル5に相当する河川氾濫の特別警報や警戒レベル4に相当する危険警報も新たに開始するなど、現行の大雨警報・注意報などが大きく変わります。

| | 河川氾濫 | 大雨 | 土砂災害 | 高潮 |
|----------|----------------|----------------|------------------|----------------|
| 警戒レベル5相当 | レベル5 氾濫特別警報 | レベル5 大雨特別警報 | レベル5 土砂災害特別警報 | レベル5 高潮特別警報 |
| 警戒レベル4相当 | レベル4 氾濫危険警報 | レベル4 大雨危険警報 | レベル4 土砂災害危険警報 | レベル4 高潮危険警報 |
| 警戒レベル3相当 | レベル3 氾濫警報 | レベル3 大雨警報 | レベル3 土砂災害警報 | レベル3 高潮警報 |
| 警戒レベル2 | レベル2 氾濫注意報 | レベル2 大雨注意報 | レベル2 土砂災害注意報 | レベル2 高潮注意報 |
| 警戒レベル1 | 早期注意情報 | | | |

POINT! 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

POINT! 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)

POINT! 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

レベル3警報やレベル4危険警報が発表されたら、自治体からの避難指示などに十分留意してください。大雨により危険度が高まった地域が地図上に表示される「キキクル」や河川の水位情報などを参照して、今いる場所が安全かどうかを確認し、危険な場所にいる人は早めの避難を心がけてください。

気象庁ホームページに設けた特設ページ※では、新たな防災気象情報に関する様々な資料を掲載しています。これらの資料を参考に、情報が発表された際にどのような行動をとるか、ご家庭や企業・組織内であらかじめ決めていただくようお願いします。

問い合わせ 富山地方気象台 防災グループ ☎076(432)2331
総務課 防災担当 ☎(67)1760 内234

※新たな防災気象情報に関する特設ページ



防災に対する疑問点や困っていることを募集します!

市民の皆さんが防災に関する知識を学び「自助」「共助」に活かしていただけるよう、令和5年9月から広報おやべに「防災コーナー」を掲載しています。昨年度(令和7年度)は防災クイズとして記事に関連するクイズを出題していました。

今年度の「防災コーナー」では、これまでの防災知識の啓発に加え、より市民目線に沿った防災啓発に繋げるため、皆さんが防災に関して疑問に思っていることや困っていることを募集し、回答・助言できるような構成を考えています。皆さんからいただいたご意見の中から、毎月の「防災コーナー」に掲載するご意見を選択したいと思います。

※全てのご意見を防災コーナーに掲載できるわけではありません

詳細は、市ホームページ(No.1007607)をご確認ください。

募集期間 令和8年4月~12月31日

テーマ 防災に対して疑問に思っていることや困っていることなど
(例)大雨時にいつ避難すればいいのか

対象 全市民

方法 意見提供フォーム(右記二次元コード)からご回答ください



意見提供
フォーム



問い合わせ 総務課 ☎(67)1760 内線234

令和 8 年 5 月 18 日

会 員 各 位

小矢部市防災士連絡協議会事務局

メールによる案内方法の追加について

立夏の候 貴殿におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本協議会の運営に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝いたします。

さて、本協議会会員数は着々と増え、今年度の会員数は 151 名となりました。たくさんの方が防災士資格を取得し、地域の防災活動に参画していただくことで、地域の防災意識高揚や防災訓練の充実が期待されているところであり、今後も引き続き、会員数の増加を目指し、防災啓発に努めてまいりたいと考えております。

一方、会員の皆様へのご案内や資料発送等に係る費用負担は年々大きくなっていることから、メールによる案内方法を取り入れているところです。

つきましては、メールによる案内に賛同いただける方は令和 8 年 6 月 11 日 (木)までに、次の回答フォームからご回答をお願いいたします。

<回答フォーム>

<https://logoform.jp/f/wZWZ4>



事務担当

小矢部市総務部総務課 松

TEL : 67-1760 (内線 231) FAX : 68-2171

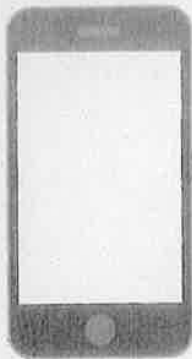
E-mail:bousai@city.oyabe.lg.jp

お願いがございました

当会ではなるべく皆様との連絡を電子ベースにて行いたく思います。

災害時に一番確実に連絡をとれるのは、音声通話ではなくパケット通信であるという事実によります。

そこで、当会からのメールをスマホや携帯電話にて受信できるように設定をお願いします。



メールの受信設定で

bousaisi-oyabe.jp

の「ドメイン」からのメールを許可

何を言っているか分からない方は、下記の部分をDoCoMoやAU、Softbankの店舗へ持参し設定してもらってください。

携帯キャリアのスタッフ様

お願いがございました

こちらのお客様のメール受信設定をお願いします。
(ドメイン指定受信の設定です)

対象となる指定ドメインは

ピー・オー・ユー・エス・イー・アイ・エス・アイ・ハイフン・オー・ワイ・イー・ピー・イー・ドット・ジェイ・ピー

bousaisi-oyabe.jp

です。ご協力をお願いいたします。